

令和3年度  
広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（Ⅱ型）  
教育学部

第五類（人間形成基礎系） 心理学系コース

小論文問題

実施期日 : 令和2年11月19日（木）  
試験時間 : 9時30分 ～ 12時00分（2時間30分）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は表紙を含めて3枚、解答用紙は3枚、下書き用紙は3枚です。
3. 解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
4. 解答は解答用紙の指定の場所に記入してください。
5. 解答用紙は室外へ持ち出してはいませんが、問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってください。
6. 机の上には、本学受験票、配付した問題冊子等、黒鉛筆（和歌、格言等が印刷されているものは不可）、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類は不可）、定規、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）のほかは置くことができません。

令和3年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（Ⅱ型）  
教育学部  
第五類（人間形成基礎系） 心理学系コース  
小論文問題

---

3 ページにある図1は、障害や病気を有する者の自立支援について今後の課題を整理するために、地域での支え合いや就労についての意識を調査した結果の一部である。この調査の対象者は20歳以上65歳未満の男女であり、図1は、全調査対象者のうち、自身が心身の事情（障害や難病、がん・糖尿病・精神疾患・脳卒中の後遺症・若年性認知症などの病気）を有しておらず、かつ、職場に心身の事情によって日常生活や仕事において配慮が必要と思われる人がいる者の回答から作成されたグラフであり、次の2つの調査項目の回答結果をまとめたものである。

1つ目の調査項目は、助け合いの意識である。「あなたの職場に障害や病気を抱えて困っている人がいたら助けたいと思いますか」という質問に対して、「積極的に助けたいと思う」「助けたいと思う」「あまり助けたいとは思わない」「助けたいと思わない」「わからない」の5つの選択肢から1つ選んでもらった。その回答によって対象者を①「積極的に助けたいと思う」と回答した者、②「助けたいと思う」と回答した者、③「あまり助けたいとは思わない」「助けたいと思わない」「わからない」のいずれかに回答した者の3つに分類した。

2つ目の調査項目は、障害や病気を抱えた人が職場にいる場合の職場への影響に関するものである。「心身の事情（障害や難病、がん・糖尿病・精神疾患・脳卒中の後遺症・若年性認知症などの病気）を抱えた方が職場にいる場合、職場にどのような影響があったと思いますか」と尋ね、図1にある12の選択肢から回答を選んでもらった。回答は、これらの選択肢のうち、いくつでも選ぶことができた。

問1 図1から読み取れることを250字以内で述べなさい。

問2 図1から読み取れることをふまえて、社会における「助け合い」についてのあなたの考えを1,500字以内で述べなさい。

令和3年度 広島大学光り輝き入試  
総合型選抜（Ⅱ型）  
教育学部  
第五類（人間形成基礎系） 心理学系コース  
小論文問題

---

著作権保護の観点から、公開していません。

図1 助け合いの意識別の各選択肢を選んだ割合（％）

（注） 本図における割合の数値は、小数点第二位を四捨五入したものを記載  
（出典） 厚生労働省「自立支援に関する意識調査」報告書（平成30年3月）

<<https://www.mhlw.go.jp/content/12605000/000523074.pdf>>（令和2年9月3日確認）を一部改変し  
作成